北信地区野球協会
令和4(2022)年度　定期総会
議案書

期　　日　　令和５年　２月１２日（日）

受　　付　　１３：３０～１３：５５

定期総会　　１４：００～１５：００

休　　憩　　１５：００～１５：１０

研 修 会　　１５：１０～１７：００

会　　場　　ホテル国際２１

会　　費　　５００円

○定期総会議事内容

司会者　塚尾　誠貴（北信地区野球協会　総務委員会委員長）

１ 開会の言葉

２ 会長挨拶　　柴山　晋一　北信地区野球協会会長

３ 議長指名と総会成立報告

４ 議事

第１号議案　令和４年度収支決算

第 1 号報告　第５回北信野球の日について

第 2 号報告　令和4年度重点活動の成果と課題&事業報告

第 3 号報告　U-15 中学校部活動の地域移行化の進捗状況について

質疑

第２号議案　北信地区野球協会役員改選について　　地域化推進委員会の設置について

第３号議案　令和５年度　予算案

第４号議案　令和５年度　事業計画

質疑

５　議長退任，質疑応答，意見交換

６　連絡，その他

・第２回プロアマドリームトーナメント（R５年３月２５日（土），２６日（日））について
・プロ野球 OB 会主催野球教室（R５年５月２７日（土）at オリスタ）について
・第６回北信野球の日（R５年１２月３日（日））について
・北信地区野球協会の賛助企業会員と賛助個人会員のお願い（総務&財源担当）
・事後アンケート（QR コード）のお願い

７　閉会の言葉

以上

○研修会

講師　　石川　智雄様

（新潟県長岡市スポーツ振興課兼スポーツ庁「運動部活動の地域移行に関する検討会議」委員，元日本中体連軟式野球競技部　競技部長）

第１号議案　令和４年度収支決算

令和4年度　収支決算報告

（令和4年4月1日～令和4年12月31日）

北信地区野球協会会長 柴山　晉一
会計 成田　浩和

収 入	1,168,100	円
支 出	618,453	円
差引残高	549,647	円

【収入の部】　収入　1,168,100　円

（内訳）

		金額
寄附金	個人	521,000　円
寄附金	長野県高校野球OB連盟	44,000　円
補助金	長野県野球協会	553,100　円
謝礼金	長野スポーツフェスティバル（2年分）	50,000　円

【支出の部】　支出　618,453　円

（内訳）

		金額
北信野球の日実行委員会	会場費	49,200　円
北信野球の日実行委員会	交流費	49,588　円
北信野球の日実行委員会	アトラクション・ブース費	68,485　円
北信野球の日実行委員会	接待費（謝礼費、昼食代を含む）	56,882　円
北信野球の日実行委員会	広告宣伝費	98,387　円
北信野球の日実行委員会	保険費・雑費（事務用品費、輸送費、通信費等）	177,056　円
普及委員会	U－8野球遊び教室・保険費	35,425　円
指導力向上委員会	COZY技術指導料	50,430　円
広報委員会	プレミアムプランアドバンス/年間	33,000　円

・差引残高は一旦、長野県野球協会へ返納し、次年度に北信地区野球協会通帳へ振り込まれる。

会計監査の結果、上記のとおり間違いのないことを認めます。

令和 5年1月23日　佐藤裕一　印
湯本浩行　印

北信地区野球協会　令和４年度重点事業報告

事務局長　齋藤

１　U-8 を対象とした育成，普及活動

（１）事業方針

学童チームに所属する小学１，２ 年生が野球，スポーツ好きになるように，普及委員会，指導競技力向上委員会，U-12 連携特別委員会が連携しながら練習会を実施する。この活動を，まだ野球と出会っていない 8 歳以下の子供たちへの普及活動になることも意識して事業を展開する。U-8 の時に野球好き，スポーツ好きという幹を育てることによって，その後の学童チームでの活躍や学童以降の野球継続にも帰するものとなるように進める。

目標：練習会の複数開催 評価：持続可能な運営体制の構築に対する反省，参加者や U-12 各チームの反応

（２）評価

成果	課題
・長野地区で U-8 を対象とした講習会を開催できた。 ・学童野球の大会と同会場としたことは，参加しやすい体制となった。 ・各地区で体験会を開催している。普及委員会で物品を管理して貸し出すシステムが整っている。	・練習会の複数開催は実現していない。 ・複数開催を持続可能にしていくには，指導者の確保が必要である。松本の遊ボールの運営から持続可能な運営体制を学ぶなどの対策を講じたい。 ・普及委員会，指導力競技力向上委員会などの連携を強化して継続的な事業を模索したい。

＊評価項目にある参加者や U-12 チームの反応は，普及委員会の報告資料参照。

２　中学校部活動改革を見越した各カテゴリーの連携強化

（１）事業方針

令和３年度に引き続き，令和 5 年度以降段階的に行われる休日部活動の地域移行を見据えた，地域主体の活動環境整備を進める。今年度は，地域クラブ設立に必要となる具体的な要件を，実践や調査によって明らかにする。

目標：中学部活動と地域(U-12 を含む)が連携する地域クラブに必要な要件を明らかにする。 評価：令和４年度総会(2 月開催予定)にて，全体に事例を発信する。

（２）評価

成果	課題
・部活動から地域クラブに移行した，もしくは来年度から移行するチームが複数ある。移行は学校，地域の方々の努力によって進んでいる。協会の名前を使うことで移行に向けた活動がしやすくなっている事例もあり，協会の存在意義がある。 ・地域移行を進めている学校，チームから，移行に必要な準備やその流れを教えていただき，事例として発信する準備ができている。 ・県協会とも連絡を取り合い，地域クラブに移行した事例を，北信だけでなく，長野県全体に発信する準備を進めている。	・市町村ごとに地域移行の動き方が違うため，情報収集や共有が必要である。 ・行政の移行を注視しながら活動していくことが重要である。そのため，行政とのつながりをつくりながら，協会としてできることを整理する必要がある。

＊具体的な事例は，部活動改革特別委員会の事業報告資料参照。

長野県野球協会「令和４年度」登録者数（長野県全体）

長野県野球協会「令和4年度」登録者調べ

	地区協会	高校関係団体		中学校関係団体					学童関係		
		高野連（硬式）	高野連（軟式）	中体連	シニア	ボーイズ	リトル	中学生計	リトル	軟連	スポ少
1	北信	645	29	477	230	72	19	798	44	601	347
2	上田・東御・小県	219	24	148	42		22	212	100	601	223
3	佐久	370		334	56		3	393	29		325
4	諏訪	297	21	216	70	41		327		978	239
5	上伊那	138		295	99			394			246
6	下伊那	244		215	43	21		279	5		
7	松本	336	60	240	53	31	19	343	98	313	31
8	東筑	48		7	29		6	42			
9	塩尻	142		69	37			106	13		46
10	木曽	22						0			
11	安曇野	17		48	37		5	90	35		81
12	大北	36		21	44		6	71	5		21
合　　計		2514	134	2070	740	165	80	3055	329	2493	1559

長野県ソフトボール協会「令和４年度」北信地区登録者数

年代		年代（U１２、U１５、U１８）				
使用球	ソフトボール	使用球（軟式、硬式、ソフトボール）				
チーム正式名称						
所属団体	長野県ソフトボール協会					
代表者連絡先（必ず連絡のつくものをお願いします）	役職		氏名		役職（指導者、保護者、その他）	
	電話番号					
	アドレス					

監督氏名		保有資格		保有資格（あり、なし）	資格の名称	
コーチ氏名		保有資格		保有資格（あり、なし）	資格の名称	
		保有資格		保有資格（あり、なし）	資格の名称	
		保有資格		保有資格（あり、なし）	資格の名称	
		保有資格		保有資格（あり、なし）	資格の名称	
		保有資格		保有資格（あり、なし）	資格の名称	

U-15 108 人

U-12 99 人

U-18 96 人

和４年度	※競技者数		※新規競技者数		※途中離脱者数	
学齢	男子	女子	男子	女子	男子	女子
小学校1年生	0	2	1	8	0	0
小学校2年生	0	7	0	4	0	0
小学校3年生	0	10	0	8	0	0
小学校4年生	0	20	0	4	0	0
小学校5年生	0	34	0	4	0	2
小学校6年生	0	26	0	6	0	0
中学校1年生	0	26	0	11	0	1
中学校2年生	0	40	0	1	0	1
中学校3年生	0	42	0	4	0	0
高等学校1年生	8	27	0	14	0	4
高等学校2年生	2	25	0	2	0	1
高等学校3年生	5	29	0	0	0	1

継続者数調査（中学校及び高等学校が回答ください）

令和４年度	学校種別	中学校	高等学校
新入生	男子	0	0
経験者	女子	13	18
野球	男子		
属人数	女子		2
硬式野球	男子		
所属人数	女子	0	0
ソフトボール	男子	0	0
所属人数	女子	12	11
しない	男子		
人数	女子	1	2

※競技者数とは令和４年６月１日時点（確定していないチームはチーム結成時点で構いません）での人数を指す。
※新規競技者数とは令和３年度途中から令和４年度にかけて新たに始めた児童・生徒の数を指す。
※途中離脱者数とは令和３年度途中から令和４年度にかけて辞めた児童・生徒の数を指す。
※資格の名称は、コーチ１・スタートコーチ（受講予定含）・準指導員のいずれかになります。

第１号報告　第５回北信野球の日について（事業報告も含め）

北信地区野球協会　令和４年度総会

野球の日実行委員会　令和４年度事業報告

委員長　宮嵜　平（須坂創成高校所属）

１　令和４年度の活動方針

野球競技人口の推移とこれまでの実行委員会としての活動から野球というスポーツの普及と競技者の継続を目的とした「第５回北信野球の日」の計画と運営

２　令和４年度活動目標

①第５回北信野球の日の内容検討と実行 ②第５回北信野球の日の全容分析

３　令和４年度実施事業

①第５回北信野球の日

普及イベント：野球未経験者を主に対象とした長野オリンピックスタジアムでの体験会　継続イベント：少年野球低学年対象の野球教室，少年野球高学年と中学生との野球交流会

４　活動目標に対する成果と課題

成果	課題
普及イベント：来場者総数 1163 名，来場子どもアンケートでは「楽しかった」99.4%　「楽しくなかった」0.6%　来場者保護者アンケートでは「大変よかった」87%　「よかった」12%　「どちらともいえない」0.01%となり，入場者数も例年並みであった。成果としては上々である。 野球教室：プロ・社会人チームの選手が講師となり２会場で 26 チーム 233 名が参加した。 野球交流会：少年野球 30 チーム 236 名，中学生 25 チーム 237 名が参加した。今年度交流会は中学硬式も含め，開催できた。	普及イベント：参加者を年齢別に見たとき，７歳がもっとも多く，これから野球を始めてもらう年齢としては妥当性も高いが，イベント案内チラシを配布したのが小学校のみだったので，来年以降は未就学児をメインターゲットになることも想定したうえで，幼稚園・保育園にも配布を検討する。 野球教室：参加者が想定より上回り，講師のみでは行き届かない場面もあったので，来年度以降は高校生の補助役を増やし充実した会になるようにしたい。 野球交流会：今回が全国的にみても前例のないものになり，手探りのまま開催したことは否めず，不手際もあった。しかし，軟式・硬式関わらず子どもたちが多くの人物と交流することは継続を考えた上では大変有意義なものなので今後も検討を重ね良いものとしたい。

【総括】

「北信野球の日」が始まりはや６年が経った。新型コロウィルス感染症により一時中断はあったものの，毎年同時期に開催でき，毎回１０００人を超える来場者もあることから社会的認知度も高まっているように感じている。しかし，「北信野球の日」の普及を高めるに留まらず，野球競技の普及を高めるよう来年度以降取り組んでいかなくてはならない。さらに，普及が成功したとして，競技人口が増えたのち，その競技者らをいかに継続させられるかというのも課題となる。その点では今回の野球交流会は大きな第１歩となる。軟式・硬式関わらず野球をしている子どもたちが１会場に集まり野球を楽しむことは過去にない取り組みであり今後，継続がキーポイントになってくる。さらに，継続が成功したならば，競技としてのあり方も再検討が必要であろう。野球を始めてもらい，続けてもらい，何を身につけさせたいのか，何を目指しているのか協会組織としてのコンセプトを見つけ全指導者が共有できるものがあると実行委員会としても開催意義も強く持つことができるのではないかと考える。

北信地区野球協会　令和４年度総会　　2023年２月１２日

総務委員会　令和４年度事業報告

委員長　塚尾誠貴（長野北部中）
副委員長　丸山晃実（長野西高）
武田圭弘（長野高）小林大真(信濃小中)
小竹大助（日大中）埋橋伸佳（上松）六川誠（坂城千曲シニア）

１　令和４年度の活動方針

総会の企画，準備，実施。総会は，協会事業等に関する審議と承認，指導者研修の２本立てを基本方針とする。研修の講師などの依頼，調整については，指導力・競技力向上委員会と相談しながらすすめていく。

２　令和４年度活動目標

子どもたちのために，指導者がアップデートしていこう！

～小中高，軟式・硬式関わらず，子どもファーストで大人が協力していく体制づくりをつくる～

３　令和４年度実施事業

通年	・全カテゴリー，連盟，団体等との情報共有。そのための情報配信，連絡体制の改善。具体的には，中体連，高野連，少年野球関係者やU-１５軟式クラブ，シニア，ボーイズなど硬式クラブとも情報共有し，連携する。 ・北信野球の日に向けた寄付活動と，来年度移行の継続的な北信地区野球協会の賛助会員（企業・個人）の募集・依頼 ・小中学校教諭の野球経験者の発掘。
２　月	**・北信地区野球協会総会　（事務局長，各委員会との調整）**

４　活動目標に対する成果と課題

成果	課題
○総会開催について ・今年度は，総務委員会としても，総会を参集での開催ができるようギリギリまで感染対策等も含め準備し，開催できてよかった。 ・毎年，内容をアップデートしながら，理事役員会等で，教員以外の野球関係者からアドバイスをいただきながら「総会」のあり方や内容を検討し，多くの方の熱量に後押しされて進めることができている。「持続可能な総会」のためにも，**もっと多くの北信地区野球協会会員の連携**を模索したい。 ・北信野球の日では，初めてU-15の軟式と硬式をMIXして交流会を企画した。今後，中学部活動も地域移行し，U-15全チームがクラブチームとなる。軟式・硬式問わず，U-15が連携していきたい。また，寄付額の目標も達成できた。来年度以降は賛助会員募集として，持続可能な継続的な財源確保を目指していく。	・他地区，他郡の動きの把握はとても重要である。コロナ禍ではあるが，来年度は他地区・県外にも可能な範囲で出向きたい。 ・長野市教育委員会に協力していただき，市内小中教員で，休日，野球の指導に携りたい教員を確認できた。今後，協会主催となって，U-15，U-12，U-8など，に人材を派遣できるよう準備していく。 ・北信地域でも市町村によって地域移行のスピードに温度差はあるが，総務委員会として，１５歳以下の全ての子どもたちが望む野球に取り組める環境づくりに協力していく。

【総括】

・毎年２月の総会の在り方をしっかりと検討し，内容のあるモノにしていきたい。コロナ禍で何ができるか模索しながら，他県や，県内他地域の様子も伺いたい。（情報をお持ちの指導者の方は総務委員まで教えてください。）（FB，インスタ，ZOOM参加やYouTube視聴も視野に）

北信地区野球協会　令和４年度総会

普及委員会　令和４年度事業報告

委員長　村山雅俊（長野工業高校所属）

１　令和４年度の活動方針

野球・ソフトボールを含めたベースボール型球技の普及活動を支援する。特に，小学校低学年及び幼保への働きかけを目指し活動を行う。同時に，離脱する子どもを減らしていくことも目指したい。あるべき普及のために，広報委員会及び指導力・競技力向上委員会との連携を密にする。

２　令和４年度活動目標

①U-8 を対象とした事業計画の実施及び継続的な改善 ②各種調査から今後の普及活動の方策を研究

３　令和４年度実施事業

①U-8 を対象とした講習会を少年野球大会と並行して実施，及びアンケート回収（別紙１参照）

②U-8 を対象とした講習会への指導を株式会社 cozy に依頼し，実施。

NAGANO スポーツフェスティバルでのキッズ野球体験会の実施。

４　活動目標に対する成果と課題

成果	課題
１）U-8 を対象とした講習会を少年野球大会と並行して初めて実施したが，参加者から非常に高い満足度を得ることができた。 ２）希望者が講習を受けることや指導に対して謝礼を支払うことで，お互いに適度な緊張感を生み出し U-8 を対象とした講習会が質の高い時間となった。 ３）NAGANO スポーツフェスティバルに指導者４名だけでなく少年野球選手３名が運営として参加し，この少年野球選手が素晴らしい取り組みを見せてくれた。	１）U-8 を対象とした講習会を継続的に行うことができず，継続的改善まで至らなかった。よりシンプルな企画運営を模索したい。 ２）幼稚園・保育園への普及活動は依然踏み込めないままとなってしまった。イベントチラシの配布を幼稚園・保育園へ広げていきたい。そして実績を重ね，幼稚園・保育園から普及活動の依頼がある形を目指したい。 ３）各団体や各チームにおいて行われている普及活動のノウハウを北信地区野球協会の持つ情報資源として活用していきたい。

【総括】

今年度，長野県高等学校野球 OBOG 連盟様よりストラックアウト２台を寄贈いただき，普及活動を展開していくことができた。また，U-8 を大切にしながら各カテゴリー及び各チームが活動していけるようアイディアを集め，そしてみなさんと共有していきたい。そのためにも，自チームの活動だけにとらわれず，広い視野を持って各カテゴリー及び各チームが活動していきたい。もちろん勝負ごとにおける勝敗は重要であると考えるが，北信地区野球協会はその一歩先，野球を始める前の子どもたち，野球を始めたばかりの子どもたちを大切にできているかを重要な評価軸としていたい。今年度もさまざまな場面でみなさまに普及活動を展開していただき感謝申し上げます。次年度以降もさらに力強い普及活動を展開していけるよう普及委員会としても尽力して参ります。

普及委員会別紙１

６月１１日(土)U-8 講習会報告

南長野少年野球連盟の皆さんのご理解とご協力をいただき，U-8 講習会を犀川第一運動場少年野球場にて開催した。

講師は株式会社 cozy より３名派遣いただき，当日までに小学１，２年生を中心に（未就学児も含む）２６名の参加申し込みを Googleform にて確認し，当日を迎えた。当日は「走ること」と「投げること」を中心に据え，講習会を進めた。講習会には，少年野球チームのコーチ及び保護者も見学いただき，研修会としての意義も感じられた。

運営は，北信地区協会事務局長齋藤貴弘さん，U-12連携委員長千葉信人さん，普及委員副委員長永原幸一さんで行なった。講習会後は，参加いただいた家庭へ個別に Googleform でのアンケート回答を依頼し，１２名の方より回答をいただいた。講習会の写真とともにアンケート結果も以下に記載する。

【アンケート結果】満足度は９.２点（１０点満点）

○具体的に良かった点/悪かった点（抜粋）

・分かりやすく教えていただき，息子も楽しんで参加していました。帰ってから「ぼく，足速くなった！」と嬉しそうに話していました。投げ方も分かりやすかったようで何度も反復して練習していました。

・走り方を専門的に教えてくれるのは良かったと思います。野球は基礎的な内容過ぎたので，出来る子には少し物足りない内容でした。

・“卵を割る”などの表現が小さい子どもでもイメージしやすい表現で，とても良かったです。未就学の息子も理解しているようでした。

○今日の活動をより魅力的なものとするにはどうすればよいと思いますか

・子供が低学年なので，集中力が持たないので，1時間ぐらいがいいと思います。講習の内容は良かったと思います。

・子ども数が多すぎて目が行き届かないかと。お手数でも時間と人数を分けると良いかと。

・講習中，子ども達からも声が上がっていましたがバッティングも教えていただけると嬉しいです。

・開催の周知をもっと幅広く呼びかける

北信地区野球協会　令和４年度総会

広報委員会　令和４年度事業報告

委員長 長谷川 良人 （千曲市立屋代中学校）

1　令和４年度の活動方針

北信地区野球協会の行う普及活動，指導・競技力向上にかかわる事業の先行的な発信と共有

2　令和４年度活動目標

ＳＮＳ（Facebook・Twitter・Instagram），ホームページなどでの継続的な情報発信 フォロワー数，リーチ数の増加

3　令和４年度実施事業

【継続】〇普及活動，指導競技力向上にかかわる事業の募集，活動内容の周知

〇活動・事業の様子の発信。

→SNS では，各カテゴリーまたは各チームにフォロワーになっていただき，インフルエンサー的な存在となりたい。各チーム，団体の SNS のリーチ数にも寄与したい。

フォロワー数４００

【新規】〇広告ツールを活用し，野球関係事業の参加希望者への周知，募集を図る。

4　活動目標に対する成果と課題

成果	課題
〇普及活動，指導競技力向上にかかわる事業の募集，活動内容の周知 →ホームページへ U-12 の選手募集チラシを載せることができた。	ホームページの維持管理費を引き続き確保する。 U-12 の選手募集チラシ掲示チームが少なかった。
〇活動・事業の様子の発信 フォロワー数 Instagram：２０３→５８９　Twitter：１４８→１５５　令和５年１月５日現在 北信地区野球協会への協賛企業・団体を紹介することができた。 北信野球の日でのフォロワー数，SNS からの参加申し込みを増やすことができた。	時期，内容を確認し，宣伝費をかけて情報を発信していく必要がある。 3 つの SNS を運用していくのは，難しいので精選していく。

【総括】

〇SNS を活用に情報を発信することができた。引き続きフォロワー数を増加させ，情報発信ツール・募集ツールとしての役割を果たしていきたい。野球競技だけでなく，長野県北信地区全般の社会への寄与をめざす。

北信地区野球協会　令和４年度総会

指導力・競技力向上委員会　令和４年度事業報告

委員長　山本　一博（長野市立裾花中学校）

１　令和４年度の活動方針

・指導者の指導力向上を目指して講習会の実施や，県協議会のライセンス取得の推進。

・選手の技能向上・健全育成を目指してＵ１０，Ｕ１２，Ｕ１５，Ｕ１８の各カテゴリーの指導内容に沿った講習会の実施。（一貫した指導体制の確立）

２　令和４年度活動目標

自発的に行動できる選手の育成

～北信地区青少年野球界の指導者の指導力向上と選手の技術力の向上，健全な育成を目指す～

３　令和４年度実施事業

１０月	・長野県野球協会技術委員会による U-15 投手教室
１１月	・株式会社 cozy による中３対象の講習会
２　月	・北信野球協会総会　指導者研修会 講師：長岡市スポーツ振興課　石川智雄氏

４　活動目標に対する成果と課題

成果	・講習会では，参加した生徒に新たな視点を与えることができた。 ・講習会に参加した指導者の中で学び合うことができた。
課題	・委員会の中でさまざまなカテゴリーを対象にした講習会や研修方法を考えていく。 ・講習会を前もって周知し，多くの指導者が参加し，一緒に学べる講習会にする。 ・講習会で学んだことを広報部とも協力し，広げていく。

第３号報告　U-15 中学校部活動の地域移行化の進捗状況について（事業報告も含め）

北信地区野球協会　令和４年度総会

特別委員会　部活動改革委員会　令和４年度事業報告

委員長　滝澤　圭介（所属）北信地区野球協会

１　令和４年度の活動方針

スポーツ庁の方針に基づき，令和５年度から段階的に地域（学校外）へ移行される中学校の休日部活動を，環境整備の視点から研究するとともに，丁寧な情報収集と迅速な情報発信に努め，各地域で主体的に始まった取組を側面的に支援する。

２　令和４年度活動目標

「持続可能なスポーツ活動環境の研究と情報発信」
～野球に出会った全ての子どもたちが，野球を通じて Well-Being を感じられる環境づくり～

３　令和４年度実施事業

（１）令和４年度総会にて，各地域（北信地区）で始まった中学校部活動の地域（学校外）への移行に関する先進的な事例を報告する。

（２）国，県及び市町村から発出される各種情報を適時，各地域に情報発信する。

（３）各地域※で，部活動改革の推進に関わる検討会議を１回以上実施する。

※各地域…「千曲」，「南長野」，「長野市」，「須高」，「中高」，「飯水」　６地域

４　活動目標に対する成果と課題

成果

○更埴地区
- 坂城町教育委員会，千曲市教育委員会が中心に各中学校と連携し，全ての活動を包括する形の「千曲坂城クラブ」の設立を目指して検討が進んでいる。

○南長野地区，長野市地区
- 北信地区野球協会（中学校の野球部顧問，外部コーチ等）が中心となり，行政と連携し，野球部の地域移行の検討が始まった。
- 長野市スポーツ課と長野市教育委員会等が役割分担する中で，全市的に平日も含めた地域移行の方向性を検討している。

○須高地区，中高地区
- 学校や行政から地域移行について周知し始めた。現時点で移行の動きはない。

○飯水地区
- 行政と体育協会が連携し，バレーボールと卓球を先行して地域移行の検討を始める。軟式野球の地域移行の検討は現時点で未着手。

○国や中体連の動向等を中学軟式野球関係者等に発信し，地域移行の推進に向けた機運づくりに努めた。

課題

●国や県からの方針や手段，支援策等が明確に定まらない中で始まった「部活動の地域移行」のため，現時点では，市町村や中学校，競技団体等によって方向性や取組状況が異なる。

●北信地区内においても小中学生の野球競技人口が減少傾向の中，市町村毎に検討を進めることの難しさがある。

●学校主体で行われてきた部活動を，学校が関わらない地域クラブへ転換を図るためには課題が多い。（例）地域クラブの整備と基盤強化支援，指導者確保と資格取得，活動場所への移動手段等。→部活動の地域移行を令和の新しいスポーツ活動への転機と捉えた視点が重要。

□北信地区野球協会は野球を通じた青少年の健全育成を目的に掲げていることや，事業重点に中学校の部活動改革を挙げていることから，北信協会が積極的に行政や各連盟等と連携し，普及振興の視点から U―15 以下世代の子どもたちの多様なスポーツ活動環境の確保に努める。

５　参考資料

・令和５年度以降の中体連大会への参加資格等について
（長野県中体連ホームページ）

・「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」について
（スポーツ庁ホームページ）

長野県中体連 HP

スポーツ庁 HP

北信地区野球協会　令和４年度総会

U-12 連携特別委員会　令和４年度事業報告

委員長　千葉　信人（長野市少年野球連盟）

１　令和４年度の活動方針

・U-8 を対象とした育成と普及活動の実施のために，各地区学童野球の大会日程などを整理して情報提供をする。また，チームの枠を超えた育成と普及が行えるように学童野球チームなどに情報配信をして会場や日程の調整を図る。

２　令和４年度活動目標

野球の魅力を発信しながら野球人口の増加を図る。 <U-８を対象とした育成，普及活動>

３　令和４年度実施事業

①６月…普及委員会と連携してＵ－８講習会を行った。

②10 月…ＮＡＧＡＮＯスポーツフェスティバルへの協力をした。

③12 月…北信野球の日への協力をした。

１月に開催される全日本野球協会主催による指導者講習会受講の案内を各チームに発信した。

４　活動目標に対する成果と課題

成果	課題
①　令和４年度活動目標であったＵ－８講習会が開催できてよかった。	①②今後も継続して開催できるようにしていきたい。
②　北信野球の日に高校グランド８会場を使っての交流会に協力ができた。	
③　２０２４年より高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会出場に際して，チーム１名以上の資格保有者を置くことが義務化に向け全日本野球協会主催による指導者講習会受講の案内を各チームに発信ができた。	③指導者資格者数の増加を図る。

【総括】

・今後も競技者数の増加が図れるように方策を検討していきたい。

・近年，習い事や趣味としてスポーツを始めるにあたり，やりがいや面白さ以外にも「教育的効果」を重視する傾向が高まっています。今一度，野球の「教育的効果」について全員で共有し発信していきたい。

・全日本軟式野球連盟の各種規程・ルールの変更が生じた場合，各チームに発信していきたい。

【改訂前後表】

■連盟規程細則第３条（チーム編成等）の改訂について

改訂前	改定後
第３条 2　一般チームは、監督を含む選手 10 名以上 20 名以内で編成しなければならない。ただし、国体および日本スポーツマスターズは別に定める。 (1) 大会でベンチに入れる人員は、監督を含む選手 20 名以内と、選手として登録しない部長(チーム代表者)、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)各１名とする。 (2) 総監督、コーチ、マネージャー、スコアラー、トレーナーを選手として登録することはできるが、20 名の範囲内でユニフォームを着用し、背番号をつけなければならない。 3　少年チーム(少年部・学童部)は、監督１名、コーチ２名以内、選手 10 名以上 20 名以内で編成しなければならない。	第３条 2　一般チームは、監督を含む選手 10 名以上 **25 名以内**で編成しなければならない。ただし、国体および日本スポーツマスターズは別に定める。 (1) 大会でベンチに入れる人員は、監督を含む選手 **25 名以内**と、選手として登録しない部長(チーム代表者)、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)各１名とする。 (2)総監督、コーチ、マネージャー、スコアラー、トレーナーを選手として登録することはできるが、**25 名**の範囲内でユニフォームを着用し、背番号をつけなければならない。 3　少年チーム(少年部・学童部)は、監督１名、コーチ２名以内、選手 10 名以上 **25 名以内**で編成しなければならない。

■競技に関する連盟特別規則(7 回戦試合の延長戦について)

改訂前	改定後
2　延長戦 ≪7 回戦試合≫ 7 回を完了して同点の場合は、健康維持を考慮し、次の方法により勝敗を決する。 (1) 延長戦は 9 回(最長 2 回)まで、もしくは試合開始後２時間 30 分を経過した場合は、新しい延長イニングに入らない。 (2) 前記を終了しても同点のときは、タイブレーク方式を行う。	2　延長戦 ≪7 回戦試合≫ 7 回を完了して同点の場合は、健康維持を考慮し、**タイブレーク方式**により勝敗を決する。

■競技に関する連盟特別規則(指名打者の取り扱いについて)

改訂前	改定後
6項 ≪7回戦試合≫ 日本スポーツマスターズおよび全日本シニアは指名打者ルールを使用することができる。	6項 **全日本軟式野球連盟が主催する大会においては、指名打者ルールを使用することができる。(学童・少年部は除く)**

■用具・装具に関する事項の改訂について

改訂前	改定後
3項 サングラスは、大会本部の承認なしに使用できる。ただし、投手は使用できない。	3項 サングラスは、大会本部の承認なしに使用できる。ただし、投手は**ミラーレンズサングラス**の使用はできない。 **また、野手がサングラスを帽子の庇の上にのせることを認める。**

■用具・装具に関する事項の改訂について

改訂前	改定後
8項 バットは改造、加工したものは使用できない。	8項 バットは改造、加工したものは使用できない。 **ただし、後付けフレアグリップの使用については、専用テープ等で完全に固定・被覆されたなだらかな形状のものであれば使用は認める。**

以上

今、見直したい

野球の教育的効果

近年、習い事や趣味としてスポーツを始めるにあたり、やりがいや面白さ以外にも「教育的効果」を重視する傾向が高まっています。では、野球にはどんな教育的効果があるのか、東京農業大学の勝亦陽一先生に語っていただきました。

野球の経験者ならば誰もが野球を通じて成長したと感じたことがあると思います。では、具体的にはどんなチカラが養われるのでしょうか？

野球で勝利するためには、チームワークが不可欠です。攻撃時は後ろの仲間にバトンをつなぐつつ、得点を目指す。守備時には仲間と連携を取って、3アウトを目指す。「協調性」や「団結力」を育んでくれます。

しかし、野球の面白い点は、団体競技でありながら個人競技の側面を持っていることです。プレーの醍醐味の一つといえば、投手と打者の勝負。攻撃する側としては、打者はバッターボックスに立った瞬間、投手と一対一で戦うことになります。これは個人競技の要素に近く、チーム競技でありながら個人競技で切われやすい「主体性」と「個性」を育みます。

また、選手は試合に出ていれば必ず打席が回ってきます。つまり、全員に活躍するチャンスがあるのです。そのため、「どう活躍するか」という目標設定がしやすく、具体的な練習方法を探求することができます。そして、どうすればチームに貢献できるか、自分が稼げるかを考えて行動する「考動力」が身に付きます。

では、守備側はどうでしょうか。投手の投球間隔は十数秒間。イニング、点差、カウント、打者の特徴などの状況や過去のデータを考慮して、次のプレーの準備と確認をします。だからこの繰り返しにより「情報処理力」「適応力」が育成されます。

野球は各ポジションの役割が明確で替えがきません。そのため、仲間をフォローする意識はもちろん、自分の役割をまっとうする「責任感」が養われます。その他にも各球場の特徴を観察・把握し、対応するための「環境対応力」、道具を身体の一部のように使いこなすために「道具を大切にする心」も自然と養われます。

しかし、野球で学んだことを生活や社会で生かすには、「野球と日常生活の共通点」を見つけることが重要です。例えば、野球で身に付けた考動力や自律設定能力は勉学でも生かせるでしょう。協調性や責任感は社会に出ても重視される力です。選手がそのことに気づけば、野球も日常生活もより充実したものになります。こういったことを教えるのも、指導者の役割の一つといえるでしょう。

野球で伸ばす『12のチカラ』

01 主体性
投手と打者の勝負。勝負を楽しもうと、自分の意思で積極的にプレーする

02 目標設定
出場していれば必ず打席が来る。つまり、全員に活躍のチャンスがあり、目標も定めやすい

03 探求心
個人の記録を競うのも楽しみの一つ。記録を伸ばすための方法を探求していく

04 協調性
守備は連携プレーで得点を防ぐ。攻撃は後ろの打者にバトンをつなぐ

05 順守
野球はルールが多く複雑。しかし、ルールに基づいて行動する力が養われるとより楽しめる

06 責任感
野球は役割分担が明確で替えがきかない。そのため、各自が自分の責務を全うする

07 適応力
一球ごとに判定があるため、結果を踏まえて次のプレーを改善するようになる

08 情報処理力
投球と投球の間に、素早く状況と情報を整理し、次のプレーを選択するようになる

09 客観視
すべてのプレーが数字で記録されるため、自分や相手の数字などを客観的に評価できる

10 物を大切に
多くの道具を使用する野球。上達する選手ほど、身体の一部のように道具を丁寧に扱う

11 環境対応
さまざまな形や大きさがある球場を観察して対応する

12 環境整備
良いプレーをするためにグランドの整備など周囲の環境を整える

勝亦 陽一 先生
ジュニアからトップアスリートまで、目的を達成するため、生涯を通してスポーツに親しむために、必要な研究と教育を行っている。

第２号議案　地域化推進委員会の設置について

北信地区野球協会　令和４年度総会

特別委員会　地域化推進委員会　令和５年度事業計画（案）

１　令和５年度の活動方針

スポーツ庁の方針に基づき，令和７年度末を目途に，中学軟式野球の「部活動の地域移行」が着実に進展するよう，子どもたちの多様なスポーツ活動環境の確保と，野球に親しむ活動環境づくりの視点から関係者が協働し，段階的に部活動から地域クラブへ発展的転換を図る。それに伴い，チームの枠を超えた育成と普及が行えるようにU-15,12のチームなどに情報配信をして，各地域での指導者の継続的な確保につなげる。

２　令和５年度活動目標（案）

「U15以下の全ての子どもたちが野球に親しめる活動環境づくり」
～小中協働，協会内協働，地域間協働，行政等との協働による「部活動の地域移行」の推進
指導者間の情報共有化及び指導力の向上，指導者の発掘～

【具体的な取組（案）】

・令和５年度総会にて，各地域（北信地区）の「部活動の地域移行」の取組を報告する。
・全ての地域※で，「部活動の地域移行」に係る検討会議を実施し，関係者による課題共有と地域移行の方策について検討を始める。また，地域内で円滑な連絡体制が構築できるようサポートする。
※検討会議を始めることが難しい地域は，北信協会が側面的に支援する。また，隣接する地域が協働して検討会議を始めることも考えられる。
※地域…「千曲」，「南長野」，「長野市」，「須高」，「中高」，「飯水」　６地域

３　令和５年度事業計画（案）

	４月～７月	８月～１２月	１～３月
情報収集 情報発信	【部活動地域移行】 ○国及び県等から発出される関連情報を適時メール等で配信 ○地域移行の推進状況を踏まえ，必要に応じて実態調査を実施 ○地域移行に関する先進的な取組の視察と報告 【地域指導者の持続的な確保】 ○学童野球に所属する選手の保護者アンケート(現状の分析)＊1 ○全日本軟式野球連盟主催による公認学童コーチ養成講習会受講の案内を各チームに発信がする。＊2 ○全日本野球協会主催による指導者講習会受講の案内を各チームに発信する。		○活動報告 ○事例報告 ○Ｒ５事業評価とＲ６事業計画の作成と報告
検討会議 委員会	○各地域で検討会議を実施する。 ※隣接する地域が合同で検討会議を行うことも考えられる。 ○責任者は本委員会の委員や中体連専門委員等から選定する。 ○検討会議への参加者は，地域の実情に応じて地区毎に人選する。 （例）U12チーム指導者，U15チーム指導者，スポーツ協会関係者，行政関係者，北信地区野球協会理事・役員，保護者　等 ○本委員会を定期的に開催し，各地域の取組状況を情報共有する。		
その他	・普及委員会，指導競技力向上委員会と連携しながらU-8講習会を実施する。 ・ＮＡＧＡＮＯスポーツフェスティバルへの協力。		

＊１　地域移行に対する考えや学童野球の環境に関する意見を吸い上げ，地域の環境づくりに反映させる。

＊２　２０２４年より高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会出場に際して，チーム１名以上の資格保有者を置くことが義務化

4　令和５年度予算（案）

会議費	３０．０００円	・印刷代 ・事務用品代 ・その他，雑費
交通費	２０．０００円	・各地区への講師及び委員の派遣費用（※長野県中体連旅費規程を参考） （郡市内）１回　　５００円 （地区内）１回　１．０００円 （県　内）１回　３．０００円

第３号議案　令和５年度　予算案

令和5年度　北信地区野球協会 会計予算（案）
（令和5年1月1日～令和5年12月31日）

北信地区野球協会会長　柴山　晉一

会計　成田　浩和

1　収入の部	1,619,647	円	
2　支出の部	1,619,647	円	
3　差引残高	0	円	

［収入の部］

項目	令和5年度予算額	内訳
繰越金	549,647	令和4年度北信地区野球協会繰越金
補助金	550,000	長野県野球協会
寄附金	500,000	
協力金	20,000	長野スポーツフェスティバル
収入合計	1,619,647	

［支出の部］

項目	令和5年度予算額	内訳
（1）北信野球の日	**550,000**	
1、北信野球の日 運営費	200,000	オリスタ使用料、保険料、接待費、企画
2、用具費	200,000	新規用具購入、用具、ボール（普及イベント・幼保活動含）
3、広告費、チラシ代	150,000	
（2）総務委員会	**200,000**	
1、総会費	150,000	会場費、講師謝礼、印刷費
2、交通費	50,000	派遣費用
（3）広報委員会	**80,000**	
1、ホームページ制作、管理運営	80,000	ホームページ維持管理費
（4）各委員会	**200,000**	
1、交通費、講師謝礼	160,000	普及委員会、指導力・競技力向上委員会、部活動改革
2、会議費	40,000	部活動改革
（5）予備費	**589,647**	備品整備や普及活動などにあてる。持続可能な組織となるために資金に余裕を持たせて運営する。
支出合計	1,619,647	

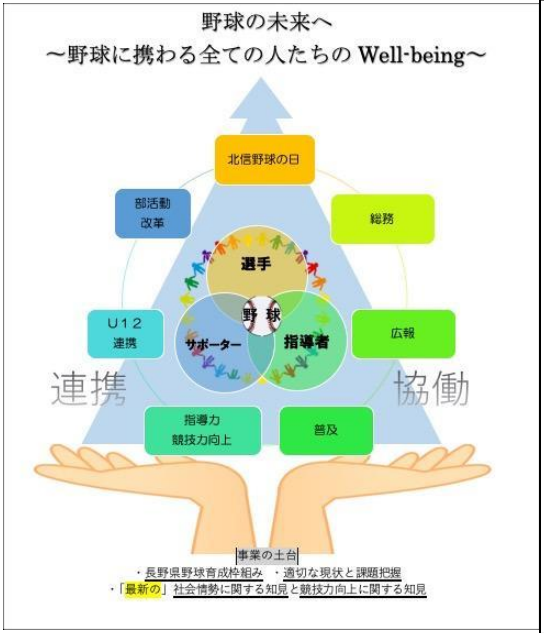
第４号議案　令和５年度　事業計画

北信地区野球協会　令和５年度事業方針(案)

事務局長　齋藤

1.　本会の目的

野球の振興，発展，競技力の向上・青少年の健全な育成(会則第２条)



【本会の目的達成に向けて大切にしたいこと】

野球に携わってよかった」と全ての人が感じられるような環境づくり

・誰に対しても思いやりとリスペクトを持ち続けること。
・選手，指導者，保護者全員が北信野球の魅力，未来づくりの当事者であり続けること。
・人とのつながりや人間関係づくり，終わりのない技能の探究，学び続けられる競技性等の野球の魅力に誇りをもつこと
・全カテゴリーの縦のつながり，各団体，支部の横のつながり(全ての連携)によって協働的に野球の振興，発展，競技力向上や子供の育成を進めること。
・野球の普及と競技力向上の両立が野球の振興と発展，子供の育成になること。
・選手は野球を通して自律することを学んだり競技力向上に努めたりする事を通して，心身ともに成長すること。
・指導者で学び続ける指導者あり続けること。
・保護者は全ての子供たちのサポーターであること。

２．令和５年度の事業重点

(1)　15 歳以下の全ての子どもたちが，自らが望む野球に取り組める環境づくり

中学部活動の段階的な地域移行の施行初年度となる。これまで中学軟式野球部顧問による情報交換や検討を進めてきた。地域移行のイニシアチブを協会がにぎって，現状にあった地域移行を実施し，子どもたちの受け皿を整備できるような体制を模索している。そのような過程の中で，中学部活動の地域移行を，中学部活動の範囲内で考え，実施していくことに限界があるということが見えてきた。そこで，視野を広げて，「15 歳以下の全ての子どもたちが，自らが望む野球に取り組める環境づくり」をテーマに，中学軟式だけでなく，U-15 硬式，U-12 と連携しながら事業を展開することが重要だと考え，下記の通り，部活動の地域移行の推進を地域の野球環境づくりとして捉えて，各委員会の事業を展開する。

【活動方針】
・中学顧問を中心とした地域移行検討のサポート
・U12 の大会や練習環境の整備サポート
・軟式硬式指導者及びチームの交流推進

【目指すすがた】
・中学部活動の地域移行について，U-12 の子どもたち及びその保護者に方向性を発信できる状況にする。
・野球に対する考えや姿勢が多様な子どもたちが主体的な判断によって野球を選択できる受け皿の構築
・15 歳以下の子どもたちが野球だけでなく，様々な活動や生活体験から学べる環境づくり。
・指導者の横のつながりの構築（自分のチームだけでなく，他チームの良さも理解する）
・指導者の発掘，指導者講習会(勉強会)の実施。指導者は子どもの選択をサポートするコンシェルジュ。

(2)　社会とつながり，社会をつくる北信野球への発展

これまで，野球人口の減少に目を向けてさまざまな事業を展開してきた。しかし，図にあるように，少子化の進行に伴い，野球だけでなくサッカーやバスケットボールの人口減少も危惧する情報が散見されるようになってきた。近年の学生スポーツの競技者数に関するさまざまな情報を見ていくと，団体競技が減少傾向にあり，卓球や陸上などの個人競技が維持もしくは増加するという傾向にある。中学入学時に希望する団体競技の人数が足らずに，個人競技に切り替えるという選択が増加していると示唆する調査結果も報告されている。これらのことから，野球人口を増やすためには，まずスポーツに取り組む子どもたちの数を増加させる必要がある。

北信野球の歴史をたどれば，地域の名称がチーム名に使われることが多く，自治会の青少年育成活動の 1 つとして野球チームが発足するなど，学童野球が地域，社会の子どもたちを育成する 1 つの役割を担い，地域づくり，社会づくりに貢献してきたと言える。

しかしながら，先述した少子化や子どもたちや保護者の価値観，考え方の多様化が進み，さまざまなニーズが社会にあふれている。そのために，野球人口を増やし，野球を通して子どもたちの育成に寄与するためには，他競技とのつながりを強化したり，学童期にはさまざまなスポーツに触れながら活動できる環境を整備したりして，「運動好き」という幹を太くすることが有効だと考えた。そのためには，野球に縛られず，野球は幾多あるスポーツに中の一競技，社会全体の一部であることを謙虚に自覚することが必要となる。

本協会は，野球の日のようなこれまでにない普及イベントを全国の中でもいち早く実施している。だからこそ，他競技と連携する勇気をもち，様々な競技とつながることで，野球が社会づくりの担い手としてまた，地域スポーツの先導役として発展していけるよう，下記の方針を提案し，各委員会を中心に事業を行いたい。

【活動方針】
・北信野球の日では，スポーツ全体の輪を広げられるように，野球以外の競技との協働を図る。
・理事役員に野球以外のスポーツ競技，さらには地域経済，行政と関わりの深い人材を増やす。
【目指すすがた】
・他競技と協働しながら，北信のスポーツ全体の発展に貢献する。
・行政や地域とのつながりを強化し，野球に限らずさまざまな事業を拡大する。

3　委員会事業について

前述した方針，重点事業を，各支部，委員会を中心に展開する。

5 つの常設委員会の他，今年度設置していた 2 つの特別委員会(U-12 連携強化，部活動改革)を 1 つの委員会に統合して，部活動の地域移行だけでなく，U-15,U-12 全体の環境整備を目的にして事業を展開する。

北信地区野球協会　令和４年度総会

野球の日実行委員会　令和５年度事業計画

委員長　宮嵜　平（須坂創成高校所属）

１　令和５年度の活動方針

「第６回北信野球の日」の計画と運営

２　令和５年度活動目標

①イベント開催意義の構築と共有 ②経緯と成果の分析から今後の見通しを立てる

３　令和５年度事業計画

第６回北信野球の日

日にち　令和５年１２月３日（日）

４～５月　実行委員の選出・委託

６～７月　実行委員会顔合わせ

８～９月　イベント概要考察→理事役員会にて審議

１０月～　第６回北信野球の日に向けたミーティング（定期）

４　次年度の予算

第６回北信野球の日　予算　550000 円

内訳：運営費 200000 円

用具費 200000 円

広報費 150000 円

北信地区野球協会　令和４年度総会

総務委員会　令和５年度事業計画

委員長　塚尾　誠貴（長野市立北部中学校）

１　令和５年度の活動方針

・総会の企画，準備，実施。総会は，協会事業等に関する審議と承認，指導者研修の 2 本立てを基本方針とする。
研修の講師などの依頼，調整については，指導力・競技力向上委員会と相談しながらすすめていく。
・賛助会員（企業・個人）を広げていく。持続可能な北信地区野球協会のためには，広く寄付を集う必要がる。
→　一人当たりの金額よりも，より多くの方の寄付を募りたい。そのきっかけの１年となる。

２　令和５年度活動目標

社会とつながる，社会を創る子ども指導者になろう！

～小中高，軟式・硬式関わらず，子どもファーストで大人が協力していく体制づくりをつくる～

～野球の未来のため，子どもたちの未来のため，継続的な財源確保に向けて働きかける～

【評価指標】

・令和５年度総会にて，各地域（北信地区）の様々な（アップデートの）取り組みの紹介を行う。
・令和５年度総会にて，令和５年の１年間で，新規賛助会員がどれだけ増やせたか，金額も含め提示する。総務委員会・広報委員会中心に１年間かけて広げていく。
・委員が積極的に出向き，他県・他地域の情報を共有し，積極的に北信地区指導者に情報発信する。
・ZOOM 等を活用しながら，総務委員会を総会直前だけではなく，定期的に実施する。

３　令和４年度事業計画

通　年	・県内他地区，県外の状況チェックと情報交換 ・全カテゴリー，連盟，団体等との情報共有。そのための情報配信，連絡体制の改善。具体的には，中体連，高野連，少年野球関係者や U-１５軟式クラブ，シニア，ボーイズなど硬式クラブとも情報共有し，連携する。 ・北信野球の日に向けた寄付活動と，来年度移行の継続的な北信地区野球協会の賛助会員（企業・個人）の募集 **・小中学校教諭の野球経験者との懇談，共に協会事業への参画。** **・地域移行化したチームから情報収集し，U-12，U-15 に情報発信。** **・U-15（軟式・硬式）間での連携。**
２　月	**・北信地区野球協会総会　（事務局長と各委員会との調整）**

４　次年度の予算

総会費（会場費，講師謝礼，講師宿泊費，印刷費，オンライン配信必要経費等）	１００，０００円	・総会準備費用（会場費，講師謝礼，講師宿泊費等） ・印刷代（会議資料等），事務用品代 ・配信用の PC 周辺機器代
交通費	５０，０００円	・各地区への講師及び委員の派遣費用 ※長野県中体連旅費規程を参考 （郡市内）　１回　　５００円 （地区内）　１回　１．０００円 （県　内）　１回　３．０００円 （県　外）※１回　１０．０００円

※県外の場所によって金額は要相談

北信地区の野球を応援してくださる皆様

令和４年 12 月吉日

北信地区野球協会の賛助会員の募集について（依頼）

長野県野球協会　北信地区野球協会会長
柴山　晋一

時下皆様方におかれましてはますますご清祥のこととお慶びを申し上げます。日頃より，北信地区野球協会の運営に格別のご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

野球を志す子どもたちの取り巻く環境改善と野球界発展を目的として設立された「北信地区野球協会」，並びにそのメイン事業である「北信野球の日」の趣旨に御賛同いただき，継続的な財源確保に向けた活動にご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。

※現在の活動は，北信地区の中高生の選手たちから徴収する登録費と，皆様からのご支援のみで運営しております。課題が山積している現状を打破するため，そして，継続的な活動を行うためにも更なる財源が必要となっております。

活動の詳細は北信地区野球協会 HP　https://www.nagano89.com/をご参照ください。

「賛助会員の募集について」

皆様にご支援いただく賛助会員の種類は下記のとおりです。何卒，ご協力をお願いいたします。
なお，「賛助会員」についてのお問い合わせは，本 HP 内の「お問い合わせ」よりお願いいたします。

１　北信地区野球協会賛助企業会員

（１）　賛助企業会員とは，本協会が協会活動への賛助をお願いする企業を言います。

（２）　賛助メニューは，１万円以上（年間）となります。

（３）　協会 HP，毎年 12 月の北信野球の日でご紹介，２月の総会時に企業名を掲出させていただきます。

２　北信地区野球協会賛助個人会員

（１）　賛助個人会員とは，本会が協会活動への賛助をお願いする個人を言います。

（２）　賛助個人会員メニューは，一口 3,000 円以上となります。

（３）　ご支援いただいた金額により，下記の通り皆様のお名前を掲出させていただきます。
　　なお，お名前の掲出をご希望されない場合は，その旨お申し出ください。

１）１口以上→2 月の総会時に個人名を掲出

２）２口以上→協会 HP，毎年 12 月第一日曜日の北信野球の日でご紹介，２月の総会時に個人名を掲出

記

１　募金額　　個人１口３，０００円から　　企業１口１０，０００円以上

２　募集期間　令和５年１月１日～令和５年 12 月 31 日まで

３　納入方法　お振込み，担当者への持参，役員による集金

４　金融機関名：八十二銀行　　支店名：篠ノ井支店（店番号 283）　口座番号：　普通　877685
　　口座名　　：北信地区野球協会　代表　齋藤　貴弘

北信地区野球協会 HP
https://www.nagano89.com/

問い合わせ
長野県野球協会　北信地区野球協会　総務委員会
委員長　塚尾　誠貴（長野市立北部中学校所属）
会計担当　成田　浩和（長野市立更北中学校所属）
E-mail（塚尾個人）　tomoki.tsukao.01@gmail.com
E-mail（成田個人）　yoa201704@outlook.jp

２０２２年１２月５日現在

北信地区野球協会
協賛企業・団体(順不同・敬称略)

・坂田木材株式会社・株式会社春原木材・長野スポーツマガジン株式会社

・中野土建株式会社・森永長野中央株式会社・株式会社杏花印刷

・株式会社西澤製作所・マルコメ株式会社・株式会社長野スター商会

・有限会社 ACEN・株式会社湯本建築設計・株式会社ビオカ

・ホテル大六・長野経済新聞社・株式会社 Reborn・寿司孝

・塚田建設株式会社・有限会社滝沢板金塗装・長春館

・有限会社ユニバーサル・アイ　・株式会社長野県民球団

・石田通信機株式会社・株式会社宮坂総合寝装・株式会社山口建築

・株式会社ザれもん・ゆでたんや　ごっくん・三巧金属株式会社

・株式会社酒井商會・株式会社スクールユニフォームタカコウ

・松代高校野球部 OB 会　・飯山高校野球部 OB 会

・長野県高校野球 OBOG 連盟北信支部　・篠ノ井高校野球部 OB 会

その他、個人で多くの皆様に寄附いただいております。

このように北信野球の日は沢山の方からの寄附で成り立っています。

寄附いただいた皆様、ありがとうございました。

北信地区野球協会　令和４年度総会

普及委員会　令和５年度事業計画

委員長　村山雅俊（長野工業高校所属）

１　令和５年度の活動方針

野球・ソフトボールを含めたベースボール型球技の普及活動を支援する。特に，小学校低学年及び幼保への働きかけを目指し活動を行う。同時に，離脱する子どもを減らしていくことも目指したい。あるべき普及のために，広報委員会及び指導力・競技力向上委員会との連携を密にする。

２　令和５年度活動目標

①地域移行を見据えた普及活動の実践
　評価）複数チームによる活動
②U-8 におけるベースボール型球技の普及促進
　評価）幼稚園・保育園へ普及イベントのアナウンス及び参加状況把握
　　U-8 を対象とした練習会を実施

３　令和５年度事業計画

①単一チームではなく複数チームによる合同での普及活動

これまでの普及活動はチーム存続のため行われてきた側面があるが，これからは地域移行を見据えた普及活動が求められる。近隣のチーム同士での普及活動や連盟単位での普及活動など今までも行われてきた活動はそのままに，徐々に地域で野球の魅力を発信していける形へと発展させていきたい。そのためにも，既存のチームの枠組みにとらわれない活動展開が必要となる。数あるスポーツのうちの一競技として指導者同士がこれまで以上に連携し，子どもたちを迎え入れたい。

②幼稚園・保育園への普及イベントのアナウンス，及び参加状況とニーズの把握

U-8 を対象とした練習会の実施

第 5 回北信野球の日では北信地域の小学生にチラシ配布をおこなえたが，幼稚園・保育園への配布は薄くなってしまった。U-8 として考えると，野球・ソフトボールのベースボール型球技の一端に触れる機会として考えている。また，参加状況及び参加者のニーズを丁寧に拾いあげていくことも並行して行い，よりよいものを模索していきたい。そしてこれらの活動は上記①でも行えることと考えられ，①と②が令和５年度における普及委員会事業の両輪としてとらえられる。加えて，今年度 U-8 を対象とした講習会を実施したが，次年度は複数チームにおいて，または大会運営と並行しての練習会開催をこれまで以上に実施したい。

４　次年度の予算

（１）普及活動における用具の更新　１０万円
（２）普及活動における保険料　　５万円

広報委員会　令和５年度事業計画（案）

委員長　長谷川　良人（千曲市立屋代中学校）

１　令和５年度の活動方針

北信地区野球協会の行う普及活動，指導・競技力向上にかかわる事業の先行的な発信と共有

２　令和５年度活動目標

ＳＮＳ（Facebook・Twitter・Instagram），ホームページなどでの継続的な情報発信
フォロワー数，リーチ数の増加
北信地区野球協会への協賛・協力企業の募集

３　令和５年度事業計画

【継続】〇普及活動，指導競技力向上にかかわる事業の募集，活動内容の周知。
〇活動・事業の様子の発信。
→SNS では，各カテゴリーまたは各チームにフォロワーになっていただき，インフルエンサー的な存在となりたい。各チーム，団体の SNS のリーチ数にも寄与したい。
フォロワー数１０００

【継続】〇広告ツールを活用し，野球関係事業の参加希望者への周知，募集を図る。
→拡散希望について気軽に依頼していただく。
→U-１２選手募集チラシの HP 掲載数の増加

【新規】〇北信地区野球協会への賛助企業の募集
→「北信野球の日」への集客力
広告配布実績（長野県北信地区小学生　５００００部配布）令和５年度幼稚園・保育園への配布拡大予定
企業広告への寄与

４　次年度の予算

広告出稿費用　　４０，０００円
ホームページ維持管理費　４０，０００円

NORTHBASEBALL_NAGANO

北信地区野球協会　令和４年度総会

指導力・競技力向上委員会　令和５年度事業計画（案）

委員長　山本　一博（長野市立裾花中学校）

1　活動方針

・指導者の指導力向上や連携を強めるための講習会を実施
・選手の技能向上・健全育成を目指してＵ8，Ｕ１２，Ｕ１５，Ｕ１８の各カテゴリーの指導内容に沿った講習会の実施。（一貫した指導体制の確立）

2　活動目標

自ら考え，学ぶ選手の育成

～指導者の指導力向上と選手の技術力の向上，健全な育成を目指す～

3　所管事項

（1）選手の育成・強化に関すること
（2）指導者養成に関すること（県協議会のライセンス制，スポーツ協会コーチ）
（3）指導者研修会に関すること
（4）指導者の体罰・暴力等撲滅に関すること
（5）指導者派遣に関すること
（6）その他技術指導に関すること
（7）生涯スポーツに関わること

4　年間計画案

通　年	・投球マニュアルに沿った講習会（指導者・選手向け） 指導者の見る目を育てる【今年度の重点】 ・オンラインやビデオで練習方法やチェックポイントをいつでも確認できる環境の整備（県協会　広報委員会と連携して）
5　月	・プロ野球 OB 会による野球教室の開催協力（２７日） 場所：オリンピックスタジアム　対象：小学６年
9　月	・中学３年対象の講習会
11　月	・長野県技術委員会による　野球教室
1　月	・県協会　全日本野球協会指導者研修会（U12　U15 ライセンス）
2　月	・北信地区野球協会総会　指導者研修会 研修内容・講師の選定は概ね半年前から委員で準備する

5　予算

・講習会の講師謝礼・交通費等･･･協議会の規定による（検討）。